

## 第144回 経営協議会（定例）議事要旨

日 時 令和5年9月28日（木）14：58～17：00  
場 所 事務局特別会議室（4階）

議題1. クロスアポイントメント手当の導入に係る関係規則等の整備について（資料1）

議題2. 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（令和5年度）について（資料2）

議題3. 認証評価基準に基づく自己点検・評価及び令和4年度自己点検・評価報告書について（資料3）

報告事項1. 令和6年度概算要求（対財務省）について（資料4）

報告事項2. 第4期中期目標・中期計画期間における事務職員に係る人事方針等に関する答申について（資料5）

報告事項3. 経営協議会学外委員による学内視察について（資料6）

報告事項4. 令和6年度農学部及び共同獣医学部の改組に係る「事前相談」の結果について（資料7）

報告事項5. 令和5年人事院勧告について（資料8）

報告事項6. 地域の医師確保等の観点からの令和6年度医学部入学定員の増加について（資料9）

報告事項7. 令和4事業年度財務諸表の承認について（資料10）

報告事項8. 本学教育研究評議会での審議事項等について（資料11）

報告事項9. 記者発表事項等について（資料12）

協議事項1. 大学院理工学研究科の経営及び改組構想について（資料13）

その他

[出席委員] 12名

佐野学長

(理事) 井戸、橋本、岩井、武隈、田頭

(学内委員) 坂本

(学外有識者) 池田、坪内、津曲、中村、福元

[欠席委員] 3名

(理事)

(学外有識者) 上村、下鶴、山野

[オブザーバー]

(理事) 石窪、萩元

(監事) 日高、松枝

(副学長) 郡山

(学部長等) 松田、有倉、小山、大脇、西村、木方、橋口

《以下 Web会議参加》

(学部長等) 寺岡、西、三角、山口、中原、寺田

### 議題1. クロスアポイントメント手当の導入に係る関係規則等の整備について（資料1）

学長から、クロスアポイントメント手当の導入に係る関係規則等の整備について諮られ、クロスアポイントメント手当を導入するために、関係規則を一部改正するとともに、同手当に関して新たに細則を定めることについて、資料に基づき説明があり、種々意見交換が行われ、審議の結果、了承された。

### 議題2. 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（令和5年度）について（資料2）

学長から、国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（令和5年度）について諮られ、岩井理事から、国立大学法人ガバナンス・コードに係る本学の適合状況等について取りまとめ、報告書（案）を作成したこと等資料に基づき説明があり、審議の結果、各原則に係る適合状況の整理及び報告書（案）とも適切であるとして、了承された。

続いて、日高監事から、ガバナンス・コードに係る適合状況等を確認するだけでなく、継続的に改善すべき点の有無の検討が重要であるとした全体的な意見及び6項目に係る意見が述べられた。

日高監事の意見を受けて学長から、6項目のうち4項目については、本学として十分に対応している等見解が述べられた。

### 議題3. 認証評価基準に基づく自己点検・評価及び令和4年度自己点検・評価報告書について（資料3）

学長から、認証評価基準に基づく自己点検・評価及び令和4年度自己点検・評価報告書について諮られ、岩井理事から、本学の自己点検・評価である、国立大学法人鹿児島大学における内部質保証に関する規則第7条における、認証評価の基準に基づく自己点検・評価の結果について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

### 報告事項1. 令和6年度概算要求（対財務省）について（資料4）

田頭理事から、文部科学省から財務省に提出された令和6年度概算要求事項等について、資料に基づき説明があった。

### 報告事項2. 第4期中期目標・中期計画期間における事務職員に係る人事方針等に関する答申について（資料5）

第4期中期目標・中期計画期間における事務職員に係る人事方針等に関する答申について、資料による報告があった。

### 報告事項3. 経営協議会学外委員による学内視察について（資料6）

経営協議会学外委員による学内視察について、資料による報告があった。

### 報告事項4. 令和6年度農学部及び共同獣医学部の改組に係る「事前相談」の結果について（資料7）

令和6年度農学部及び共同獣医学部の改組に係る「事前相談」の結果について、資料による報告があった。

### 報告事項5. 令和5年人事院勧告について（資料8）

令和5年人事院勧告について、資料による報告があった。

報告事項 6. 地域の医師確保等の観点からの令和 6 年度医学部入学定員の増加について（資料 9）  
地域の医師確保等の観点からの令和 6 年度医学部入学定員の増加について、資料による報告があった。

報告事項 7. 令和 4 事業年度財務諸表の承認について（資料 1 0）  
令和 4 事業年度財務諸表の承認について、資料による報告があった。

報告事項 8. 本学教育研究評議会での審議事項等について（資料 1 1）  
本学教育研究評議会での審議事項等について、資料による報告があった。

報告事項 9. 記者発表事項等について（資料 1 2）  
本学の最近の主な記者発表事項等の記事を添付している旨の説明があった。

協議事項 1. 大学院理工学研究科の経営及び改組構想について（資料 1 3）  
学長から、今回の協議事項は、大学院理工学研究科の経営及び改組構想について意見交換するため提案した旨説明があり、引き続き、山口大学院理工学研究科長から、大学院理工学研究科の経営及び改組構想について、資料に基づき説明があった。  
説明の後、各委員から次のような意見等があった。

- ・今回の組織改革における対応はどのように考えているか。DXコネクセンターには鹿児島県のプラットフォームになってほしいが、教員側の拡充・強化等の体制はどのような想定をしているか。
- ・総合的な人材が足りない中で、とんでもない発想を持っている基礎的な研究をしている先生も存在しており、先生と学生で交わることでいい化学反応をしていき、全体的にレベルアップしていくことを期待している。
- ・人口 1.4 億のインドをはじめ、思い切った海外からの人材獲得も考えても良いのではないか。海外で活躍している中堅クラスの方々を呼び込み、英語教育等も含めた教育の場面に活かす方法もあると思う。
- ・医療DXの面では、記録媒体である電子カルテの作成について非常に時間がかかっていることが一番の問題となっている。特にAIの導入が進んでいないことが問題となっている。同じような疾患を読み取ったり音声入力が可能となるような、AIが先を読んでカルテを作成するスピード感があるシステム、AIと電子カルテが合体したシステムが求められている。
- ・本改組における具体的な企業との関係はどのような状態になっているか。企業から必要なものを相談されて、大学が協力してシステムを開発すると理解して良いか。
- ・社会実装については、大学院としての教育面も重要だが、社会実装の面から考えると、社会から求められているものに答えることで外部資金の獲得に繋がると思うが、企業と連携できるシステム等は構築されているのか。
- ・文部科学省からデータサイエンス人材育成が大学に強く求められているように、DX人材の不足に直面しており、病院の医療に関しても業務のIT化が求められている。鹿児島大学の大学院理工学研究科が鹿児島の地域のニーズに応えられるような窓口となってほしい。
- ・産学の連携や地元貢献というのが前提であるが、情報科学の3つのコースの研究内容を見ると、医学部、農学部、水産学部、他学部の研究を進化させるために汎用性のある研究をしていると思うが、自身の研究を進化させるために、情報工学の知識を得たいという要望・需要はないのか。また、需要に対するマッチングの工夫はできているのか。

その他

次回（定例）は、令和5年11月22日（水）15時00分頃からとなった。